

2022 年度大学院人文学研究科臨床心理学専攻

一般 1 期試験 (2021 年 9 月 8 日)

英 語

時間 : 10 : 00 ~ 11 : 00

* 英和・和英辞典持込可 (電子辞書不可) *

問. 以下の英文を全文和訳しなさい.

この部分に記載されている文章については、著作権上の問題から公表することができません。

以上

2022 年度大学院人文学研究科臨床心理学専攻

一般 1 期試験 (2021 年 9 月 8 日)

専 門

時間 : 11 : 20 ~ 12 : 20

大問 1. 以下の問いに答えなさい。(各 20 点)

- (1) 多職種連携について、公認心理師がもつ専門性と留意すべきことについて、虐待を例に挙げて述べなさい。
- (2) 不登校の事例をアセスメントする際に重要な点を複数挙げて説明しなさい。

大問 2. 以下の心理学用語について説明しなさい。(各 10 点)

- (1) W.Wundt
- (2) チャンク
- (3) 認知的不協和理論
- (4) 選択的最適化
- (5) マインドフルネス瞑想
- (6) プログラム学習

大問3. 以下の問題ごとの正しい選択肢を選びなさい。(各5点)

問題1 心理学における実験法について述べた次の選択肢を読み、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生態学的妥当性が高い
- 2 因果関係を見出すことに適している
- 3 主に質的なデータを扱うことが多い
- 4 研究者の主観によるバイアスが最も入り込みやすい
- 5 大量のデータを一度に集めることが可能である

問題2 Rogers, C. R. の理論に関する説明として、適切なものに○、適切でないものに×を付けた場合、選択肢1~4の組み合わせの中から正しいものを1つ選びなさい。

- A. 実現傾向は人間にとって最も重要な動因である
- B. 自由連想法を行う
- C. 自己構造と体験の不一致の修正
- D. セラピストの積極的関わりが条件となる

	A	B	C	D
1	○	×	○	×
2	×	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○

問題3 次の選択肢から、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 フォーカシングを開発したのは、ジェンドリンである
- 2フロイトは、精神分析学において集合的無意識の概念を打ち立てた
- 3 バイオフィードバック法やトークンエコノミー法などを用いる応用行動分析モデルの代表的療法家としてスキナーがいる
- 4 河合隼雄は、箱庭療法を日本に紹介した

問題4 次の選択肢のうち、不適切なものをすべて選択しなさい。

- 1 新行動主義にカテゴライズされる Hull, C. L. は、動因低減説を提唱した
- 2 Skinner, B. F. は、Pavlov, I. P. が発見した条件反射をオペラント条件づけと呼んだ
- 3 Thorndike, E. L.は、動物を使った問題箱の実験で試行錯誤学習を研究した
- 4 Tolman, E. C.は、迷路学習課題の研究から認知地図の概念を提唱したが、これは学習理論的にはS-R説に相当する
- 5 Watson, J. B.は、心理学をより厳密な科学とすることを意図して、行動主義宣言を発表した

問題 5 次の文章は、児童福祉法に規定されている児童相談所の基本的機能についての説明である。当てはまるものの記号を下記の語群の中から選びなさい。

- 1 子どもに関する相談で、専門的な知識や技術を必要とするものについて、総合的なアセスメントをもとに援助方針を定め、関係機関等を活用して一貫した子どもの援助を行う
- 2 必要に応じて家庭から離して一時的に保護するもの
- 3 里親や児童福祉施設に子どもを委託、通所、又は入所させて、子どもへの必要な支援、指導を行うもの
- 4 市区町村における子ども家庭相談への対応について、市区町村間の連絡調整、市区町村への情報の提供、その他必要な援助を行うもの

- | | | | | |
|-------|-----------|----------|----------|-------|
| a. 相談 | b. アセスメント | c. 一時保護 | d. 一時預かり | e. 措置 |
| f. 保護 | g. 市町村援助 | h. 市町村連絡 | | |

問題 6 以下の5つの選択肢から、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 「適性処遇交互作用」における「適性」とは知能検査で測定される一般知能のことを指す
- 2 「適正処遇交互作用」における「処遇」とは他の学習者と比較することを指す
- 3 「適性処遇交互作用」には優れた教授法はすべての学習者に対して良い効果を挙げるはずだという前提がある
- 4 「適性処遇交互作用」を提唱したのは、Cronbach, L. J. である
- 5 「適性処遇交互作用」の考えの背景には、相関的研究と実験的研究を統合した第三の研究法論がある

問題 7 以下の5つの選択肢から、誤っているものを1つ選びなさい。

- 1 Erikson, E. H. の理論を拡張した Peck, R. C. が分けた中年期の発達課題には、「知恵の尊重 対 体力の尊重」が含まれる
- 2 Erikson, E. H. の理論を拡張した Peck, R. C. が分けた中年期の発達課題には、「社会的人間関係 対 性的人間関係」が含まれる
- 3 Erikson, E. H. の理論を拡張した Peck, R. C. が分けた中年期の発達課題には、「感情的柔軟さ 対 感情的貧困さ」が含まれる
- 4 Erikson, E. H. の理論を拡張した Peck, R. C. が分けた中年期の発達課題には、「精神的柔軟さ 対 精神的頑固さ」が含まれる
- 5 Erikson, E. H. の理論を拡張した Peck, R. C. が分けた中年期の発達課題には、「基本的信頼 対 不信」が含まれる

問題 8 次の選択肢から、自己覚知状態を高める要因を 2 つ選びなさい。

- 1 鏡に写った自分の姿を見る
- 2 他者と会話をする
- 3 有名店の行列に並ぶ
- 4 録音した自身の声を聴く
- 5 大学の課題をこなす

問題 9 心理統計について記述した次の選択肢から、不適切なものをすべて選びなさい。

- 1 実験条件と統制条件を設定して実験を行った。二つの条件は被験者内要因とした。この条件平均値に差があるかどうかを確認するためには、 t 検定を実施すればよい
- 2 質問紙で自尊心とナルシシズム傾向とを測定した。これら 2 つの間にどの程度の関連性があるかを確かめるためには、二つの変数の相関係数 r を求めればよい
- 3 複数の先行研究から、中学生において教師の 2 つのリーダーシップ (P と M)、および学習意欲得点が成績に影響を及ぼしている可能性が示唆されている。これを確かめるためには、成績を独立変数、2 つのリーダーシップ得点と学習意欲得点を従属変数とした重回帰分析を実施すればよい
- 4 公認心理師の認知度に地域差があるかどうかを調べるため、東北地方、関東地方、中部地方の 3 つの地方それぞれで、「国家資格公認心理師を知っているか」を質問する調査を実施した。回答方法は「知っている」「知らない」のどちらかとした。「知っている」との回答割合に地域差があるかどうかを確かめるには、 χ^2 検定が適切である

問題 10 記憶障害について、最も適切でないものを 1 つ選びなさい。

- 1 前向健忘は、潜在記憶の記銘には大きな問題はない
- 2 逆向健忘は、発症前のエピソード記憶の想起が困難となる
- 3 認知症の周辺症状のひとつとして、見当識障害がある
- 4 前向健忘は、発症後、エピソード記憶の記銘が困難となる
- 5 認知症の中核症状のひとつとして、実行機能障害がある

以上